

電話端末でここまでできる！ 小規模オフィスの業務を強力支援



企業システムにおける大きなトレンド
の、ビジネスホンでもIP対応が進
んでいる。

他方、企業ユーザー側では、コスト
削減や業務の効率化だけでなく、セキ
ュリティ対策なども含めたビジネス改善
と快適なオフィス環境の実現を後押し
してくれる多様な機能を求めるよう
になってきた。

このようなニーズにIP技術と独自の
ユニークな技術で応えるシステムが、
パナソニック コミュニケーションズ株式
会社(PCC)からリリースされた。3~50
名規模の個人商店や中小事業所を対
象としたビジネスホン「ラ・ルリエ」(La
Relier)だ。同システムは公衆IP電話
サービス対応であると同時に、メイン
ターゲットである電話機5~20台程度
のオフィス環境 少人数での業務遂行
を支援する利便性の高い機能を充実

図1 多機能コードレスとカラーテレビドアホンが連動



パナソニック コミュニケーションズ株式会社から、IP対応の小規模事業所
向けビジネスホン「ラ・ルリエ」が1月30日に発売された。新製品の一番の
トピックは“電話機能の深堀り”にある。カラー液晶付き多機能コードレス
電話機とテレビドアホンの連動、相手先の名前で呼び出す「ネームトーク」
機能など、業務効率化に役立つ電話の新しい使い方を提案している。

させている。

ドアホン画像をコードレスで確認

「ラ・ルリエ」の特長として真っ先に
あげられるのは、ビジネスホン分野で
世界初*および国内初となる2つのユニ
ークな機能だ。(* 2005年12月現在、
PCC調べ)

まず、“世界初”の機能としてカラー
液晶付コードレス電話機でドアホン(同
社製「どこでもドアホン」VL-SV104K)
の画像をモニターできるようにした。

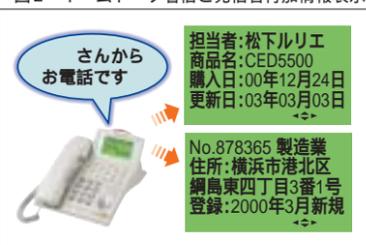
電話とドアホンの同時待ち受けが可
能で、通話中でも訪問者がドアホンの
玄関子機を押せばコードレス電話機に
着信音と画像を通知。簡単な操作で
電話の通話からドアホンへの応答へ切
り替えることができる。

また、カラー液晶画面でドアホン画
像(連続静止画)もモニターできるため、

訪問者が誰かを事前に
確認できる。例えば、女
性が一人で留守番をし
ている時に迷惑電話や
不審な来訪者に対し
て、電話・ドアホンの
両方で利用可能なボイ
スチェンジ機能を使っ
て男性のような声で
応答することもでき
る。

さらに、ワイヤレスカメ
ラを連動させたモニタリ

図2 ネームトーク着信と発信者付加情報表示



ングが可能なので、作業場や倉庫など
の様子を確認することもできる。ワイ
ヤレスカメラは、コールボタンを接続して
簡易的な受付システムにもなる。人手
の少ないオフィスの受付業務の効率化
にも役立つだろう。

着信相手の名前を合成音声で通知

ビジネスホンとして“国内初”となる機
能は、電話をかけてきた相手の名前を、
音声で知らせる「ネームトーク着信」で
ある。ナンバー・ディスプレイサービスと
連動して最大1500件対応の外線電話
帳に登録された相手から着信があっ
た際、多機能電話機およびコードレス
電話機のスピーカーから「さんから
お電話です」と音声ガイダンスが流れ
る。

また、携帯電話などへの外線転送時
には、「ネームトーク転送」によって、誰
からの着信かをアナウンスしてくれる。
通話前に相手分かるので、「重要顧
客なので応答しよう」「移動中で通話
できないから留守録で受けよう」とい

た、状況に応じた対応も可
能になる。

「ラ・ルリエ」には、以下の
多彩な転送機能が揃っており、これらと組み合わせてネ
ームトーク転送を利用できる。

・外線ダブル転送：設定した
2つの外線へ同時に着信
転送

・セレクト転送：重要顧客な
ど特定相手からの着信のみを設定
先に転送

・スライド転送：電話に出られずに一定
時間が過ぎると設定先に転送

・お助け転送：電話応対中の別の着
信を「お助けボタン」の操作で転送

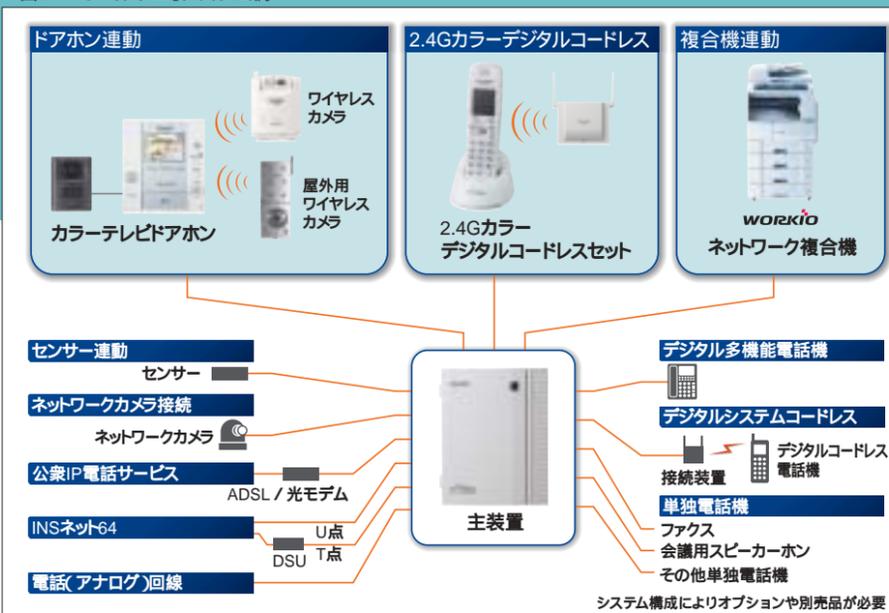
相手先の情報を通知する便利な仕
組みとして、「発信者付加情報表示」機
能も搭載している。着信中・通話中の
ボタン操作で、電話帳に登録した発信
者情報を、多機能電話機やカラ・液晶
付きコードレス電話機の液晶画面に表
示できるのだ。顧客コードや住所、購
入商品など、必要な情報を自由に決め
られるので、的確な対応を支援してく
れるはずだ。

加えて、多機能電話機には緑・赤の
2色に光る大型着信ランプを装備。内
線と外線、重要顧客と一般顧客とい
った相手別に点滅色を分けることで、電
話の相手を識別できる。

電話帳の登録・変更は、電話機から
の登録に加えパソコンのブラウザから
も行える。また、ネームトークの音声は
電話帳に入力した名前のフリガナを自
動で読み上げるので、声で録音する必
要はない。

少人数での電話応対に役立つ機能

図3 「ラ・ルリエ」システム例



としては、「オフィス留守番」もポイント
の1つといえる。ワンタッチ操作による
「通話録音」、夜間や休日などの「留守
録」、着信時に一定時間が経過すると
自動応答または伝言録音に切り替わ
る「お待たせ応答」、伝言内容を携帯
電話などから聞き取れる「外線リモ
ート」など、多彩な機能を標準装備し
ている。留守録は事務所、店舗、自宅と
いったテナント別に設定・運用するこ
ともできる。

PCCのデジタル複合機「WORKiO」
との連動も、オフィスワークの効率化に
貢献してくれる。FAXの受信、紙詰ま
りやトナー切れなど、複合機の動作状
況を多機能電話機のランプ表示で通知
する。ランプのついたボタンを押すこ
とで、FAXの発信元や異常状態をディ
スプレイで確認できるので、受信FAX
や紙切れの放置もなくなるだろう。

通信コスト・増設工事費も削減

コスト削減効果についてはどうか。
この点で「ラ・ルリエ」は、キャリア各
社の法人向けIP電話サービスを、外付
けのVoIPアダプターなしで接続できる。
NTTコミュニケーションズの「OCNドッ
トフォン オフィス」、KDDIの「KDDI-IP

フォン」、フュージョン・コミュニケーシ
ョンズの「FUSION IP-Phone」による通
話料の削減が可能だ。

また、KDDIのサービスを利用する
場合「ラ・ルリエ」同士であれば独自機
能の「公衆IPクローズドナンバリング機
能」が使える。複数の事業所間におい
て、050番号ではなく内線番号で電話
をかけられる機能だ。

さらに、システムを拡張する場合は、
主装置のハードはそのままに、SDメモ
リーカードの交換で容量アップや機能
追加を実現できる。端末の増設を容易
にする「電話機ツイン接続」も搭載し
ている。設置済みの多機能電話機から
ケーブルを延伸し、もう1台多機能電
話機を追加する仕組みだ。これらによ
って、オフィス拡張時にかかる工事作
業の軽減にもつながる。

「ラ・ルリエ」はユーザー企業が求め
る顧客対応の強化、業務の生産性向
上、通信コストの削減を実現するた
めの強力なツールになるだろう。

お問い合わせ先
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー
〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号
TEL: 03-3491-9191(代表)
http://panasonic.biz/larelrier/